2023 年 3 月 22 日

フィリップ証券
A member of PhillipCapital

フィリップ証券株式会社

シンガポール・テクノロジーズ・エンジニアリング（STEG）

米企業の交通システムノウハウを輸入、国内ノウハウを世界に輸出。スマートシティ事業で世界のリーダーを目指す

シンガポール | 防衛 | 業績フォロー

BLOOMBERG STE:SP | REUTERS STEG.SI

- 2022/12通期は、売上高が前期比17.4%増、基礎的EBITが同8.2%増、基礎的純利益が同39.8%増。主要3事業全て増収・基礎的EBIT増益。
- 都市化ソリューション・衛星通信事業は22年3月に買収した米交通システム大手トランスコアが増収に貢献。費用増吸収でEBITも増益。
- 米トランスコアのノウハウをアセアン輸入の一方、街灯スマート化をブラジルに輸出。スマートシティ事業で世界のリーダーを目指す。

What is the news?

2/24発表の2022/12通期は、売上高が前期比17.4%増の90.35億SGD。エネルギー価格高騰や22年3月末に約3000億円相当額で買収した米交通システム大手トランスコア社に係るディール・統合費用、および年金費用削減額を除く基礎的EBIT（利払い前税引き前利益）が同8.2%増の7.29億SGD、基礎的純利益が同39.8%増の5.49億SGD。新規受注高が同12.0%増の131億SGD、期末受注残も同19.2%増の230億SGDへ拡大した。

通期の事業セグメント別の売上高は以下の通り。①商業航空宇宙事業は、売上高が前期比21%増の29.91億SGD、EBITが同65%増の3.01億SGD。アジア太平洋地域の航空業界回復の追い風を受けたことに加え、年金を含むコスト削減が奏功した。航空宇宙機MRO（維持・補修・オーバーホール）関連が同21%増収、航空エンジンやブレーキ関連が同20%増収、航空機アセット管理が同73%増収といずれも堅調に推移。②都市化ソリューション・衛星通信事業は、売上高が同49%増の17.72億SGD、EBITが同13%増の29百万SGD。トランスコア社がニュージャージ州の料金収受システム契約獲得など増収に貢献。買収関連費用、および衛星通信事業における半導体不足と製品開発投資費用増を吸収して増益を確保。③防衛・公共セキュリティ事業は、売上高が同6%増の42.72億SGD、前年同期の新型コロナ救済政府支援プログラムの影響を除いた基礎的EBITが同3%増の4.28億SGD。防衛航空宇宙が同9%増収、デジタルシステム＆サイバーが同3%増収、地上輸送が同10%増、海洋船舶が同4%増収と全サブセグメントが増収だった。

How do we view this?

同社は高い成長が見込まれる都市化ソリューション・衛星通信事業への投資を積極化している。渋滞の状況に応じて通行料金を変えるシステムといった米トランスコアが持つ最先端ノウハウをアセアンに輸入して都市交通分野での世界リーダーとなることを目指している。

逆に、国内での実証実験を基にしたスマートシティ事業の輸出としてブラジル（リオデジャネイロ）で30万本の街灯をセンサーと通信網でつなぐ「街灯スマート化」の23年完工目標で進めている。自動点灯・消灯による省エネに加えて大気や道路データの収集・分析による渋滞解消や大気汚染軽減、雨量測定による洪水被害防止に役立つと見込まれる。

業績推移　※参考レート 1SGD=99.16円

事業年度	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12F	2024/12F
売上高（百万SGD）	7,158	7,692	9,035	9,696	10,313
当期利益（百万SGD）	521	570	535	591	676
EPS（SGD）	0.17	0.18	0.17	0.19	0.22
PER（倍）	20.53	19.39	20.53	18.47	16.01
BPS（SGD）	0.74	0.77	0.77	0.80	0.86
PBR（倍）	4.72	4.53	4.53	4.36	4.06
配当（SGD）	0.15	0.15	0.20	0.16	0.17
配当利回り（%）	4.30	4.30	5.73	4.58	4.87

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

配当予想（SGD）	0.16	（予想はBloomberg）
終値（SGD）	3.49	2023/3/21

会社概要

1967年にチャータード・インダストリーズ・オブ・シンガポールとして設立。シンガポール政府系投資会社のテマセク・ホールディングスが50%強の持株比率となる筆頭株主。アジアでも有数の防衛・総合工学企業であり、商業航空宇宙、都市化ソリューション・衛星通信、防衛・公共セキュリティを主要3事業セグメントとする。

2019年に米航空部品のMRAシステムズのほか、米国の衛星ネットワーク管理ソリューションを提供するグロウリンク、およびベルギーの通信衛星関連企業のニューテック・グループを買収。2022年3月に米交通システム大手トランスコア社を買収した。

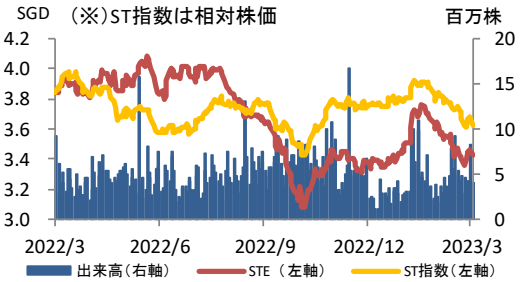
①商業航空宇宙事業は、主に「航空宇宙機MRO（Mintenance, Repair, Overhaul）」、「航空部品およびシステム」、「航空資産管理」の3グループから成る。

②都市化ソリューション・衛星通信事業は、主に「都市化ソリューション」、「衛星通信」の2グループで構成される。

③防衛・公共セキュリティ事業は、主に「海洋船舶」、「地上輸送」、「デジタルシステムおよびサイバー」「防衛航空宇宙」の4グループがある。

企業データ（2020/7/22）

ベータ値	0.87
時価総額（百万SGD）	10,982
企業価値=EV（百万SGD）	17,170
3ヵ月平均売買代金（百万SGD）	15.0



（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

主要株主（2023/3）

	（%）
1.テマセク・ホールディングス	51.72
2.CAPITAL GROUP COMPANIES INC	4.98
3.ブラックロック	1.93

（出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

リサーチ部

笹木 和弘

+81 3 3666 6980

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】
本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号
TEL:03-3666-2101　　URL： http://www.phillip.co.jp/
本レポートの作成者：公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項＞
・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。